

とっておきを見つける

# 宮城の旅



100万都市の歴史と賑わいを楽しむ **仙台エリア**

日本三景の美と食を堪能する **松島エリア**

山、里の自然と人情にふれる

**大崎・栗駒・登米** エリア

リアスの海の幸を満喫する

**石巻・気仙沼** エリア

自然と温泉に憩う

**白石・蔵王** エリア





# 100万都市の歴史と賑わいを楽しむ

## 仙台 仙台エリア

伊達政宗公が、城を築いて以来400年。関東以北最大の城下町として栄えた歴史の街は、青葉山や広瀬川の自然を生かし、ケヤキやイチョウの並木道を整えた「杜の都」でもある。清々しい空気に包まれて、歴史の場所や、東西南北に長く続くショッピングモールを楽しみ歩くことができる。



### 仙台城跡(仙台市青葉区)

仙台藩主伊達政宗公によって青葉山に築かれた。本丸跡からは眼下に市街が一望できるほか、復元された隅櫓の行まいに往時をしのぶことができる。



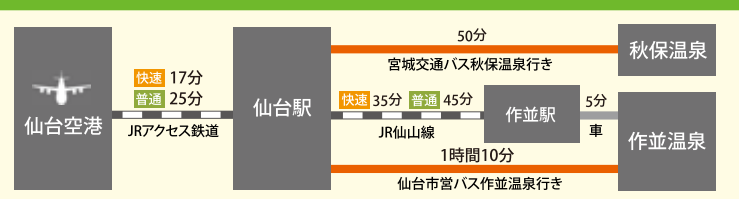
### 瑞鳳殿(仙台市青葉区)

伊達政宗公の霊屋で、寛永14(1637)年に2代藩主忠宗によって建立。絢爛豪華な桃山様式の廟建築として国宝に指定されたが戦災で焼失。当時の姿そのままに再建された。



### 大崎八幡宮(仙台市青葉区)

仙台藩祖・伊達政宗公が、仙台城の乾(北西)の方向に当たるこの地に祀ったといわれる。社殿には豪華絢爛な桃山建築の特色が見られ、伊達家の威風を現代に伝える貴重な建造物。毎年1月14日の松焚祭(どんと祭)は多くの参拝者で賑わい、無病息災、商売繁盛を祈願する。



### 観光案内所お問い合わせ先

- 仙台市観光情報センター(仙台駅構内2F) tel.022-222-4069
- 仙台国際センター交流コーナー tel.022-265-2471



### 仙台うみの杜水族館(仙台市宮城野区)

2015年7月に開館。三陸の海をテーマにした大水槽や広瀬川の環境をモチーフとした展示、イルカ・アシカのパフォーマンス、ペンギンなどふれあえる体験といった魅力が満載。1階フードコートも併設。



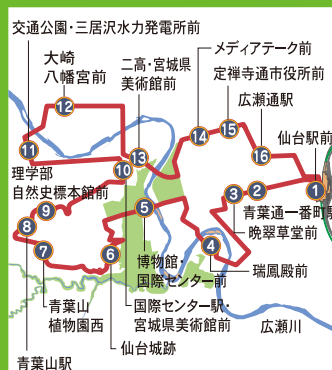
### るーぶる仙台(仙台市青葉区)

仙台駅から15〜20分毎に出発する観光循環バス。博物館や仙台城跡など、市内中心部の観光スポットを効率よく周ることができる。○1回乗車券／大人:260円、12歳未満の子ども:130円(1日乗車券／大人:620円、12歳未満の子ども:310円)



### 仙台市博物館(仙台市青葉区)

伊達家から寄贈された文化財をはじめ、仙台に関する資料約9万点を収蔵。国宝「慶長遣欧使節関係資料」や重要文化財の伊達政宗のよろいは必見(展示期間は要確認)。



### ブランドーム一番町



### 仙台駅S-PAL

ショッピングストリート(仙台市青葉区)  
仙台駅から一番町、定禅寺通から南町通へと続くストリートは、6つのアーケードからなる一大ショッピングゾーン。  
また、駅周辺には家電量販店が進出し、賑わいをみせている。



### 国分町

国分町は3,000軒を超える飲食店がひしめく東北最大のネオン街。飲食ビルが通り沿いに立ち並び、週末の夜は会社員など多くの人たちが賑わう。



### 牛たん

仙台発祥の味。ジューシーな肉の旨みと香ばしさ、独特の深い味わいが人気を呼んでいる。牛たん焼き、麦飯、デールスープのセットがおすすめ。



### ホテル(仙台市)

仙台駅周辺には、リーズナブルなホテルからハイグレードなホテルまで、さまざまなホテルが立ち並び、ニーズに合わせたホテルを選ぶことができる。最近では天然温泉をひいた浴場があるホテルも見られる。



### 三井アウトレットパーク仙台港(仙台市宮城野区)

ショッピング、レストラン合わせて約120店舗が集結する東北最大のアウトレット。多彩な味が楽しめるフードコートや、敷地内に高さ50mの観覧車も設置。家族で1日楽しめるショッピング施設。



### 仙台泉プレミアム・アウトレット(仙台市泉区)

米国東北部の街並みをイメージした建物に、高級ブランドや雑貨店舗80以上が並ぶ。隣接する「泉パークタウン タピオ」と合すると、160店舗が揃うショッピングスポット。



### 仙台七夕まつり(仙台市青葉区)

伊達政宗公の時代から続く伝統行事で、東北三大祭の一つに数えられる。中心部アーケード街をはじめ周辺部商店街には、大小合わせて約3,000本の七夕飾りが風に揺れる。前夜祭の七夕花火祭も多くの人で賑わう。毎年8月6〜8日に開催(前夜祭は5日)。



### SENDAL光のページェント(仙台市青葉区)

12月上旬〜31日の17時30分〜23時(31日のみ〜24時)、定禅寺通と青葉通のケヤキに飾られた電球が仙台の夜空を彩る。18時、19時、20時の3回、約1分間消灯して一斉に再点灯するスターライト・ウイニング、サンタクロースのコスチュームでパレードするサンタの森の物語などイベントたくさん。



## 秋保温泉 エリア



秋保温泉 (仙台市太白区)

名取川の溪流と周囲の山々が四季折々の美しさをみせ、みどころも多い東北屈指のいで湯の里。

秋保工芸の里 (仙台市太白区)



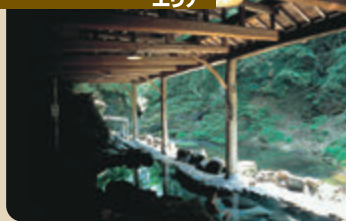
伝統こけし、仙台筆筒、埋もれ木細工、江戸独楽など、伝統工芸の職人たちの工房が集結。作品販売はもちろん、製作の様子をじっくりと見学できるほか、有料で絵付け体験もできるので、ぜひ挑戦してみたい。

秋保大滝 (仙台市太白区)

日本三名瀑のひとつ。高さ55m、幅6mの迫力ある眺めは見る者を圧倒させるほど。秋保大滝不動尊の奥に展望台があるほか、滝壺までの遊歩道も整備されている。



## 作並温泉 エリア



作並温泉 (仙台市青葉区)

仙台のシンボル・広瀬川上流にある山間の温泉。素朴でひっそりとした温泉情緒が感じられる。



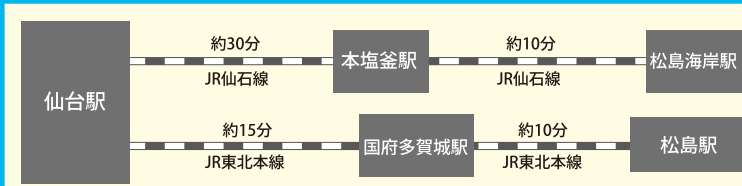
極楽山西方寺 (定義如来) (仙台市青葉区)

縁結びや子授けに御利益のある古刹。“定義如来”の名で親しまれている。門前には商店が軒を連ねる。

## 芭蕉ゆかりの日本三景の美と食を堪能する

# 松島 松島 エリア

1689年6月25日に松島を訪れた芭蕉は、『おくのほそ道』に「松島は扶桑第一の好風」と記している。波静かな入江に260あまりの島々を浮かべた姿は、まさに「日本三景」の絶景。月に照らされ、あるいは雪に覆われた松島もまた美しく、カキをはじめとする食も多彩だ。



松島湾観光

松島観光桟橋発着で松島湾内の島々を巡る周遊コースや、塩釜まで行く定期観光船など様々なコースがあり、湾内の美しい島々を間近で観賞できる。

観光案内所お問い合わせ先

● 松島海岸駅前V案内所

tel.022-354-2263



瑞巖寺 (国宝) (松島町)

平安時代から続く由緒ある禅寺で、伊達家の菩提寺として手厚く守られている。桃山様式の建築が特徴で本堂、庫裏などは国宝、御成門、中門などは国の重要文化財に指定。



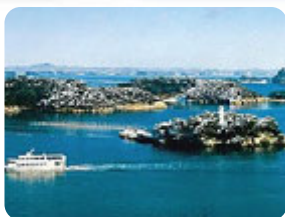
五大堂 (松島町)

大同2(807)年、坂上田村麻呂が毘沙門天を祀ったのが始まりと伝えられる松島のシンボルともいえる観光スポット。単層宝形造りのお堂が立つ小島へ赤い透橋が架けられている。



鹽竈神社 (塩竈市)

陸奥国一之宮として1200年以上の歴史を誇り、古くから崇敬を進めてきた。現存する社殿は伊達家が寄進したもの。国の天然記念物のシオガマザクラの見ごろは5月上旬。



多間山 (七ヶ浜町)

松島四大観の一つの景勝地。多間山展望広場に駐車し徒歩10分、毘沙門堂の裏側に広がる景色が、松島四大観の「偉観」と呼ばれる眺め。



円通院 (松島町)

伊達政宗公の孫、光宗の菩提寺。霊廟の三慧殿には光宗像が祭られ、その厨子にはバラやハートなど西洋のモチーフが描かれている。紅葉スポットでもあり、ライトアップもされる。また、数珠作り体験もできる。



嵯峨溪 (東松島市)

日本三大溪の一つ。女性的な松島の景観とは対照的に、太平洋の荒波と風雨に侵食された白い岩肌は荒々しく男性的。遊覧船で間近に見ることもできる。



観瀾亭 (松島町)

伏見城の茶室を豊臣秀吉から伊達政宗公が拝領。二代藩主忠公が納涼・観月の場として移築した。博物館では、伊達家ゆかりの大名道具など貴重な資料を展示。また、お茶(お菓子付)をいただきますから松島らしい景色を楽しむことができる。



塩釜水産物仲卸市場 (塩竈市)

巨大な建物の中に、約120もの店舗が並ぶ大規模な市場。仲卸業者だけでなく一般の人でも利用可能で、新鮮な魚介類や水産加工品などを格安で購入できる。市場内の食堂では、買った刺身などを丼で味わえる(調理不可)。



寿司

三陸沖から水揚げされた新鮮な魚介類をネタとする寿司は海を身近に有する宮城県の自慢のひとつ。特にまぐろの水揚げ日本一を誇る港町・塩竈には評判の寿司処が多い。

かき

宮城県は全国第2位の水揚げを誇るかきの産地。松島を中心とする沿岸ではかきの養殖が盛んに行われている。松島湾のかきは小ぶりで身が締まっており、旨みが凝縮されているのが特徴。(10～3月)



みちのく伊達政宗歴史館 (松島町)

伊達政宗公の生涯を200体のロウ人形を使って、主要な25シーンを再現した施設。また、太宰治や宮澤賢治といった東北の偉人たちのロウ人形50体も展示されている。



東北歴史博物館 (多賀城市)

東北の歴史と文化の発信拠点として、開館した体感型ミュージアム。旧石器時代から現代までの東北の歴史を紹介する総合展示室、特別展示室がある。また、火起こしなどの体験も楽しめる「子ども歴史館」もある。

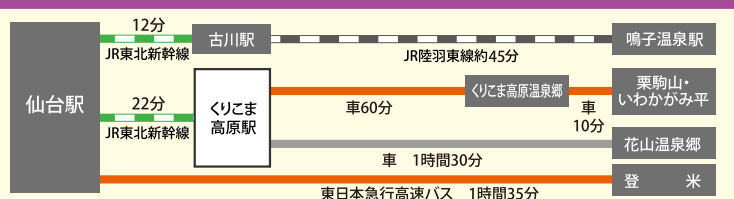


## 山、里の自然と人情にふれる

大崎  
栗駒  
登米

# 大崎・栗駒・登米エリア

宮城県北部地域は、広大な田園地帯となっており、宮城の中でも特に農林畜産の中心となる。米づくりや野菜づくりを体験したり、地域の工芸などを体験したりする中で、土地の人々とのふれあいを楽しむことができる。鳴子、花山、くりこまと続く温泉郷も忘れられない。



## 大崎

### 鳴子峡(大崎市)

鳴子温泉から中山平に向かう途中の大谷川沿いにある全長2.5km、深さ100mにも及ぶ大渓谷。県内有数の景勝地で秋の紅葉が特に有名。

## 栗駒

### 世界谷地原生花園(栗原市)

周囲をブナ林に囲まれた栗駒山の南山麓に広がる、日本有数の湿原。初夏に湿原一帯に咲くニッコウキスゲが特に有名。



### 鳴子温泉郷



鳴子温泉(大崎市)

#### 東鳴子温泉(大崎市)

江戸時代には仙台藩の御殿湯も設けられた。湯治場の面影を残す。

#### 中山平温泉(大崎市)

鳴子温泉郷一の湯量を誇る温泉。「美肌の湯」としても知られている。



鳴子温泉(大崎市)

#### 鳴子温泉(大崎市)

奥州出羽街道の要所として古くから賑わってきた温泉。共同浴場が2カ所あり、温泉巡りも楽しい。

#### 川渡温泉(大崎市)

鳴子温泉郷の表玄関。古くから「かけ川渡」と謳われた泉質の良さと湯量の多さが自慢。

#### 鬼首温泉(大崎市)

一年中アウトドアスポーツが楽しめる豊富な湯量を誇る高原の温泉。



### 栗駒山(栗原市)

宮城、秋田、岩手3県にまたがる標高1627mの秀峰。ファミリー向けの登山コースもあり、山頂からは月山、蔵王連峰、太平洋を一望できる。ブナの原生林は新緑や紅葉の季節が美しい。紅葉の見ごろは9月中旬～10月下旬。



### くりこま高原温泉郷

栗駒山の中腹に湧くいで湯と、花山溪谷に湧くいで湯として知られる。



- ・ハイルザーム栗駒
- ・新湯温泉くりこま荘
- ・駒の湯温泉(日帰り温泉)
- ・湯浜温泉三浦旅館
- ・湯湯温泉佐藤旅館(休業中)
- ・花山温泉湯湯山荘

## 登米

### みやぎの明治村(登米市)

江戸時代には登米伊達氏の城下町として、明治維新後は北上川の舟運で栄えた登米市登米町。教育資料館や警察資料館など洋風建築物が点在し、レトロな雰囲気を楽しめる。武家屋敷を利用した春蘭亭でお茶も飲める。



### 日本こけし館(大崎市)

伝統こけし約5,000本を展示する。こけし工人の製作実演が見学できるほか、こけしの絵付け体験もできる。1～3月は休館。



### 旧有備館(大崎市)

旧有備館は、江戸時代に岩出山伊達家の下屋敷・隠居所として、2代宗敏の頃に建てられた。その後、家臣の子弟を教育するための学問所として使用された。

## その他のエリア



### やくらい高原(加美町)

流麗な姿から「加美富士」とも呼ばれる薬葉山。そのふもとに広がるやくらい高原には、露天風呂を備えた温泉施設をはじめ、温泉を利用したプール、フラワーガーデン、ゴルフ場、パークゴルフ場、スキー場などのレジャー施設が立ち並ぶ。



### 天平ろまん館(涌谷町)

天平21年(749年)に日本初の産金の地に立つ。館内には、日本一の天然金塊や砂金採り体験場のほか直売場やレストランも併設され、茶会に利用できる黄金の茶室「くがね庵」が隣接している。



### 県北部の湖沼(登米市・栗原市・大崎市)

宮城県北部に位置する伊豆沼、内沼、無栗沼は、国際的に重要な湿地としてラムサール条約に指定されている。日本でも有数の鳥の越冬地。伊豆沼では、夏になるとハスの花が美しく咲き誇る。

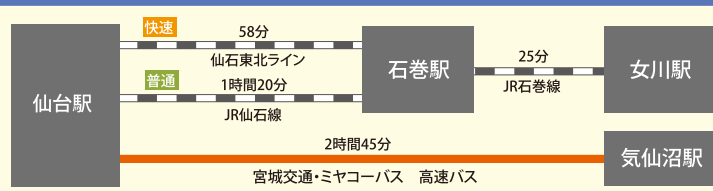




## リアスの海の幸を満喫する

# 石巻・気仙沼 エリア

石巻から牡鹿半島、南三陸、そして気仙沼と続く宮城県の海岸線は、複雑に入り組んだ地形にさまざまな景観を生み出し、浜ごとに特有の海の幸をもたらしている。石巻・金華山地域ではホヤやウニ、サンマ、南三陸・気仙沼地域ではフカヒレやマグロ、アワビなど、食べ歩く楽しみは尽きない。



## 石巻



**石ノ森漫画館(石巻市)**  
「サイボーグ009」「仮面ライダー」など、漫画家・石ノ森章太郎が生み出した人気キャラクターに出会えるミュージアム。館内には図書・映像ライブラリーも充実。

©石森章太郎 石森プロ

## 気仙沼



**巨釜・半造(気仙沼市)**  
唐桑半島の東側にある二つの岬。巨釜の「折石」は見もの。海水の浸食によって形成された大理石の奇岩、怪石が連続する。



**宮城県慶長使節船ミュージアム(石巻市)**

藩政時代支倉常長一行を乗せて太平洋を航海した慶長使節船、サン・ファン・パウティスタの復元船を展示。



**金華山(石巻市)**

周囲約26kmの信仰の島で、原生林には猿や鹿が生息。中腹にある黄金山神社は、東北三大霊場の一つに数えられる。



**田代島 猫の島(石巻市)**

田代島では、猫は大漁を招く縁起の良い生き物として、昔から大事にされてきた。猫を祀った猫神社もあり、「猫神様」と呼ばれ親しまれている。島の至るところで猫の姿が見られるので、猫を目当てに島を訪れる観光客も多い。



**神劇崎(南三陸町・石巻市)**

神が崖を二つに割ったという伝説が残る景勝地。崖の間に荒波が激しく流れ込む様子は圧巻。



**徳仙丈山(気仙沼市)**

標高711m、県内最大規模といわれる山ツツジとレンゲツツジの大群生地。5月中旬～6月上旬にかけて見ごころをむかえる。



**岩井崎(気仙沼市)**

三陸復興国立公園の最南端にある岬。ダイナミックに潮を吹き上げる潮吹き岩で知られ、波が荒い干潮時にはよりダイナミックに潮を吹き上げる。



**リアス・アーク美術館(気仙沼市)**

2013年4月に新たな常設展示「東日本大震災の記録と津波の災害史」を加えフルオープン。震災の記録や記憶をとどめる資料を通じ、津波災害と地域の歴史などを分かりやすく紹介する。



**復興商店街(石巻市・気仙沼市・女川町・南三陸町)**

東日本大震災で被災した沿岸部の商店街が仮設店舗で営業を再開している。魚介類など、地元ならではの新鮮な食材を使用した飲食店や、衣料品など日用品を扱う店まで様々な店舗がある。復興商店街で買い物をすることも被災地支援の一つの形。ぜひご利用ください。



**石巻・気仙沼の漁港**

三陸沿岸は海の幸の宝庫だ。石巻・牡鹿半島エリアは世界三大漁場とも呼ばれる金華山沖漁場を控え、カツオ、サバなど「金華ブランド」をアピール。ホヤ、クジラも有名だ。一方、気仙沼では生産量日本一のフカヒレのほかマグロなどが水揚げされる。各地の魚市場では新鮮な魚介類を販売しているので立ち寄りやすい。



**フカヒレ(気仙沼市)**

気仙沼市は高級中華食材として人気が高いフカヒレの日本一の生産地。地元では寿司やラーメンといった多彩なフカヒレ料理が味わえる。



**ホヤ**  
海のバイナッブルと呼ばれるホヤは、春から夏にかけての三陸の珍味。独特の風味があり、酢の物や刺身で味わう。

**サンマ(女川町、気仙沼市)**

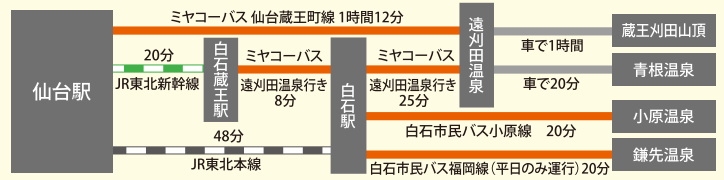
女川港と気仙沼港は、全国有数のサンマの水揚げを誇る。秋になると各地の市場には新鮮で脂ののったサンマが並ぶ。塩焼きはもちろん、刺身で食べられるのは水揚げ港ならではの贅沢





# 白石蔵王 白石・蔵王 エリア

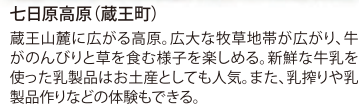
仙台藩主・伊達政宗の一番の腹臣・片倉小十郎の城下町として築かれた白石。うーめん、和紙、こげしなど、その頃から続く物産が名物となっている。西には七ヶ宿、北には大河原、柴田、東には丸森などの歴史の街が続き、蔵王山麓の自然の中ではゆったりと温泉を楽しむことができる。



**蔵王／御釜(蔵王町)**  
蔵王のシンボルとなっている火口湖。周囲約1km、水深約25m。太陽の光の具合で1日に数度も色を変えることから「五色沼」とも呼ばれている。



**蔵王の高山植物(蔵王町)**  
蔵王では色とりどりの美しい高山植物を観賞できる。とくにピンク色の小さな花を咲かせるコマクサの群生地として知られている。



**七日原高原(蔵王町)**  
蔵王山麓に広がる高原。広大な牧草地帯が広がり、牛がのんびりと草を食む様子を楽しめる。新鮮な牛乳を使った乳製品はお土産としても人気。また、乳搾りや乳製品作りなどの体験もできる。



**遠刈田温泉(蔵王町)**  
共同浴場が2つあり、湯治場としても人気が高い。  
**鎌先温泉(白石市)**  
奥羽の薬湯として知られ、外傷や神経痛に効く。  
**小原温泉(白石市)**  
白石川上流の風光明媚な渓谷を望む歴史ある温泉。眼病に良い温泉としても有名。  
**義々温泉(川崎町)**  
海拔850mの蔵王山中にある一軒宿。古くから日本三大胃腸病の湯として知られている。  
**青根温泉(川崎町)**  
山間部にあつて、遠く太平洋も一望できる眺望の良さが魅力。

## COLUMN



**温麺(うーめん、白石市)**  
和紙、クズとともに「白石三白」と讃えられる白石名物の麺。胃痛を患う父のために、油を使わず、小麦粉と塩水で麺を作ったのがはじまりとされ、温かい思いやりからできた「温麺(うーめん)」と呼ぶようになったといわれる。消化がよく、滋養に富み、独特の風味が魅力。温、冷どちらで食べても美味。

## 宮城のスキー場



みやぎ蔵王セントメリースキー場

- みやぎ蔵王えぼしリゾート(蔵王町)
- みやぎ蔵王すみかわスノーパーク(蔵王町)
- みやぎ蔵王セントメリースキー場(川崎町)
- みやぎ蔵王白石スキー場(白石市)
- みやぎ蔵王七ヶ宿スキー場(七ヶ宿町)
- オニコウベスキー場(大崎市)
- 上野々スキー場(大崎市鳴子温泉)
- やくらいファミリースキー場(加美町)
- スプリングバレー泉高原スキー場(仙台市)
- 泉ヶ岳スキー場(仙台市)



**一目千本桜(大河原町・柴田町)**  
大河原町と柴田町の中央を流れる白石川の堤に、約8kmにわたって続く桜並木。花の季節にはライトアップされるほか、桜まつりなどでにぎわう、県内有数の桜の名所。



**蔵王エコライン(蔵王町)**  
全長26kmの山岳観光道路。蔵王の雄大な景観の中を走り抜けるドライブは爽快そのもの。



**白石城(白石市)**  
伊達家の重臣・片倉小十郎の居城。平成7年、日本古来の建築様式に基づき、史実に忠実に復元された。天守閣から蔵王連峰や市街地が一望できる。



**こげし(蔵王町、白石市)**  
東北地方固有の郷土玩具こげしは、土地ごとに形や表情、模様の特徴がある。遠刈田系こげし(蔵王町)は胸に手描きされた菊や梅の花模様や優しい表情が特徴。弥治郎系こげし(白石市)は幅広いの口線とベレー帽を被ったような頭部が特徴。絵付け体験ができる施設もある。



**すいせん祭り(蔵王町)**  
みやぎ蔵王えぼしスキー場は、春はスイセンの名所となる。ゲレンデがすっかり花に覆われ、4月下旬〜5月中旬にはすいせん祭りが開かれる。



**樹氷(蔵王町)**  
樹氷(別名スノーモンスター)は、アオモリトドマツが自生していること、地形や気象状況といったいくつかの条件を満たした場所で見ることができない、とても珍しい自然の芸術。みやぎ蔵王すみかわスノーパークでは、雪上車「ワイルドモンスター号」で神秘の世界を体験することができる。



**国営みちのく杜の湖畔公園(川崎町)**  
釜房ダム湖畔にある国営公園。季節の花々が咲く「彩のひろば」や東北6県の古民家があるほか、多彩なレジャーが楽しめる。



**宮城蔵王キツネ村(白石市)**  
緑あふれるキツネ村では、たくさんのキツネが大自然の中で放し飼いにされ、実際に触れたり、餌付けしたりすることができる。

さらに詳しい宮城県の旅情報をインターネットでもご覧いただけます。

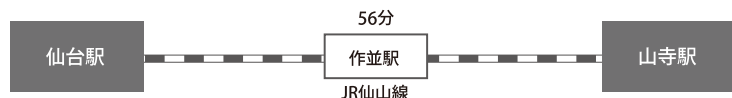
- 宮城県観光連盟  
[http://www.miyagi-kankou.or.jp/tourist\\_infomation/](http://www.miyagi-kankou.or.jp/tourist_infomation/)
- 宮城県観光課  
<http://www.pref.miyagi.jp/kankou/>



## 宮城の周辺の見どころ

# 山寺

山寺(宝珠山立石寺)は、860年に慈覚大師円仁が開いた霊場であり、52万坪の境内には幽玄ともいえる情景が広がり、国の名勝・史跡となっている。

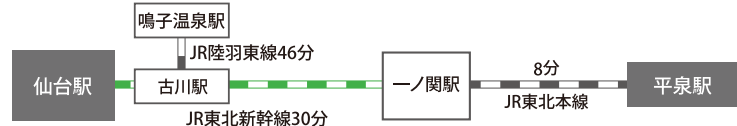


### 山寺(山形市)

1689年7月13日に訪れた芭蕉は、「閑さや岩にしみ入蟬の声」と詠んだ。山門を入れば、凝灰岩の岩場に1015段の石段が続き、岩に張り出した、足もすくむような五大堂から雄大な景観が一望できる。

# 平泉

平泉は、「平泉浄土思想を基調とする文化的景観」として2008年の世界遺産登録が有力視されている。「黄金の国ジパング」のモデルともいわれる奥州藤原三代の黄金文化の歴史、源義経と弁慶主従の伝説などで知られる。



### 毛越寺(平泉町)

中尊寺と並ぶのが毛越寺。同じく850年に慈覚大師が開いたものであり、往時には堂塔40、僧坊500を数えたといわれる。伽藍遺構と浄土庭園はほぼ完全な状態で残っている。国の特別史跡・特別名勝。

### 中尊寺(平泉町)

平泉文化の中心となるのが中尊寺。850年に慈覚大師円仁が開いた場所であり、参道には樹齢数百年の杉並木が続く。全面金箔貼りの金色堂には藤原三代の御遺体も安置されている。世界遺産。

## 宮城の物産

宮城県には、長い歴史と風土の中で受け継がれ、地域の資源を活用した優れた工芸品があります。また日本有数の穀倉地帯と豊富な水産資源に恵まれ、自然の風土を活かした数多くの食品や、庶民の生活から生まれた伝統の味を大切にしています。



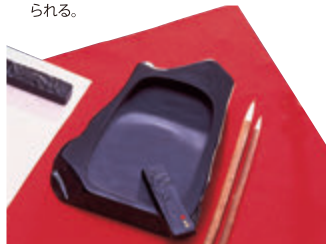
### 仙台四郎

江戸時代末期に仙台に生まれた実在の人物。彼が立ち寄る店は必ず商売繁盛するといわれ、福の神として親しまれた。置物や絵馬などいろいろなグッズが売られている。



### 若柳地織

栗原市若柳を中心に、明治から大正にかけて広く利用された綿織物。独特の紺色と縞の出し方に特徴がある。室内着をはじめ、ネクタイや名刺入れなど小物類にも用いられる。



### こけし

素朴でかわいらしい表情を見せるこけし。県内には鳴子、遠刈田、弥治郎、作並、肘折の系統がある。



### 松川だるま・仙台張子

藩政時代に下級武士の手内職として作られていた。張子にはお面のほか、優しい温もりに包まれた虎や俵牛、馬などの素朴な玩具がある。



### 玉虫塗

昭和初期に考案された工芸品で、漆地から浮かび上がる繊細な絵柄が特徴。下に漆く銀粉が玉虫の羽根のような光沢を醸し出している。



### 堤人形

純朴な風姿が魅力の土人形は、もともとは侍たちの手内職から生まれたもの。歌舞伎や浮世絵などをモチーフにしており、優雅な趣がある。



### 雄勝硯

石巻市雄勝地区は、玄昌石と呼ばれる石の産地。硯の加工は約600年の歴史があり、現在では国の伝統的工芸品に指定されている。



### 仙台筆筒

ケヤキの木目を生かした木地呂塗りど、唐獅子等の打ち出し模様の鉄金具など、熟練した職人の丁寧な技によって生み出される逸品。堅牢さと格調の高さが特徴で、使い込むほどに風合いが増す。



### 松笠風鈴

1780年代ごろ、音色の良い風鈴を所望した仙台藩主に献上したのがはじまり。鍍物のザラザラした表面に無数の穴模様があり、余韻の美しい独特な音色が特徴。



### 日本酒

おいしい日本酒づくりに欠かせないのが、質の良い米ときれいな水。だから、宮城の酒(日本酒)は、おいしいと評判。お土産にも喜ばれている。

### ずんだ餅

ゆでた枝豆を丁寧にすりつぶして餡にし、餅に絡めた仙台の名物。枝豆の風味と甘さがマッチして、独特の味わい。

### 笹かま

その昔、キチジヤヒラメといった高級な白身魚のすり身を笹の葉の形に焼き上げたところから名付けられた。新鮮な原料を厳選し、丹念に焼き上げた逸品揃い。

### 仙台堆朱

朱の漆を何回も塗り重ねて作り上げる彫刻漆器で、精緻なデザインが重厚感を演出している。耐熱・耐水性にも優れている。



### 仙台駄菓子

庶民のくらしの中から自然発生的に生まれた駄菓子の数々。色やかたちも様々で、子供が喜びそうな愛らしさと自然の素材が醸し出すあたたかさがある。手仕事ならではの名物だ。





# おすすめ! 宮城のモデルコース

仙台駅発



## 仙台・松島観光 コース

AM

JR仙台駅→  
JR仙石線で約40分→  
JR松島海岸駅下車→  
松島観光(五大堂、円通院、  
瑞巖寺など)→  
JR松島海岸駅(JR仙石線で  
約40分)→  
JR仙台駅→市内にて昼食



松島湾

PM

るーぶる仙台にて仙台市中心部観光(瑞鳳殿、仙台北城跡、大崎八幡宮  
等)→JR仙台駅



るーぶる仙台



仙台北城跡(政宗公騎馬像)

## 松島遊覧船・仙台市内宿泊 コース

AM

JR仙台駅→(JR仙石線で約40分)→JR松島海岸駅下車→松島観光  
(五大堂、円通院、瑞巖寺など)→松島湾クルーズ→(所要約50分)マリ  
ンゲート塩釜下車→塩釜市街地観光(鹽竈神社、イオンタウン塩竈な  
ど、寿司等の昼食)



松島湾クルーズ



鹽竈神社

PM

JR塩釜駅→(JR仙石線で約10分)→  
JR中野栄駅下車→徒歩10分→  
三井アウトレットパーク仙台港→  
徒歩10分→  
JR中野栄駅→(JR仙石線で約20分)→  
JR仙台駅→  
仙台市内にて宿泊(仙台市街地、  
秋保温泉、作並温泉)



秋保温泉

## 松島・鳴子温泉宿泊 コース

AM

JR仙台駅→  
(JR仙石線で約40分)  
→JR松島海岸駅下車  
→松島観光(五大堂、  
円通院、瑞巖寺など→  
松島にて昼食)



五大堂

PM

JR松島海岸駅(JR仙石線で約40分)→JR仙台駅(東北新幹線で約15  
分)→JR古川駅乗り換え→(JR陸羽東線で約40分)→JR鳴子温泉駅  
下車→鳴子温泉にて温泉街散策、温泉入浴→鳴子温泉にて宿泊



鳴子峡



鳴子温泉郷

## 車で行く白石蔵王・遠刈田温泉宿泊 コース

AM

仙台市中心部→仙台宮城IC→(所要  
約30分)→白石IC→(所要約10分)→  
白石市中心部観光(白石城見学、甲冑  
試着体験、白石温麺の昼食等)→(所  
要約30分)→蔵王エコーライン→(所要  
約40分)→蔵王・お釜



お釜▷

PM

(所要約40分)→遠刈田温泉街散策(温泉入浴、温泉街散策 等)→白  
石市周辺温泉地宿泊(遠刈田温泉、鎌先温泉、小原温泉、青根温泉)



白石城



小原温泉

### ●宮城県観光のお問い合わせ先

宮城県観光情報発信センター／〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8番1号 tel.022-211-2822 fax.022-211-2829 E-mail Kankou@pref.miyagi.jp

宮城県東京事務所観光物産サービスセンター／〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-2-2 東池ビル2階宮城ふるさとプラザ内 tel.03-5956-3591 fax.03-5956-3513

宮城県大阪事務所／〒830-0001 大阪市北区梅田一丁目3番1-900号大阪駅前第1ビル9階 tel.06-6341-7905 fax.06-6341-7906

みやぎ観光情報センター／〒060-0052 札幌市中央区南二条東一丁目1-12 フラータ札幌5階506号 tel.011-223-1155 fax.011-223-1156

